

指導資料



鹿児島県総合教育センター

情報教育 第112号

- 小, 中, 高, 特別支援学校対象 -

平成20年5月発行

授業でICTを活用するための工夫

平成19年3月に文部科学省が実施した「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」では、本県の「教材研究等にICTを活用する能力」については、71.2%の教員ができると回答しているのに対して、「授業中にICTを活用して指導する能力」については、指導できると回答している教員が、55.1%にとどまっている。

また、文部科学省委託事業「地域・学校の特色等を活かしたICT環境活用先進事例に関する調査研究」(平成18年度)によると、授業でのICT活用が進まない理由として、多くの教師が、「機器設置や教材の準備に時間がかかる」、「活用イメージが分からない」などと回答している。

そこで、本稿では、このような課題に対して、授業でICTの積極的活用を図っている学校の実践を基に、機器設置から授業実施までの工夫について具体的に述べる。

1 機器設置等の工夫

機器設置の準備を迅速に行うためには、機器一式(コンピュータ、デジタルカメラ、教材提示装置、プロジェクタ、スピーカなど)をキャスター付きのワゴンに乗せて、移動可能にし、いつでも活用できるように

する方法がある(図1)。

床にワゴンの位置をマーキングしておくことで、スクリーンとの距離や左右の位置などの微調整も簡単にでき、安全面に十分配慮した上で教科準備係や機器準備係の児童生徒に準備させることも可能である。



図1 機器設置の工夫例(串良商業高等学校)

教室にスクリーンがない場合には、黒板に広幅用紙を貼り付けることでスクリーンの代用とすることができる(図2)。

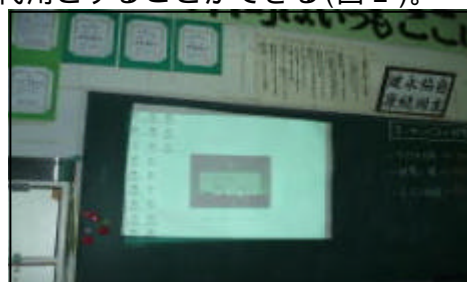


図2 スクリーンの工夫例(鹿児島市立武中学校)

また、空き教室や多目的なスペースなどを利用して必要な機器を常設しておくことで、児童生徒の教室移動のみでICTの活用を図られる環境を整えておくことができる。

2 ICTの活用をイメージするための工夫

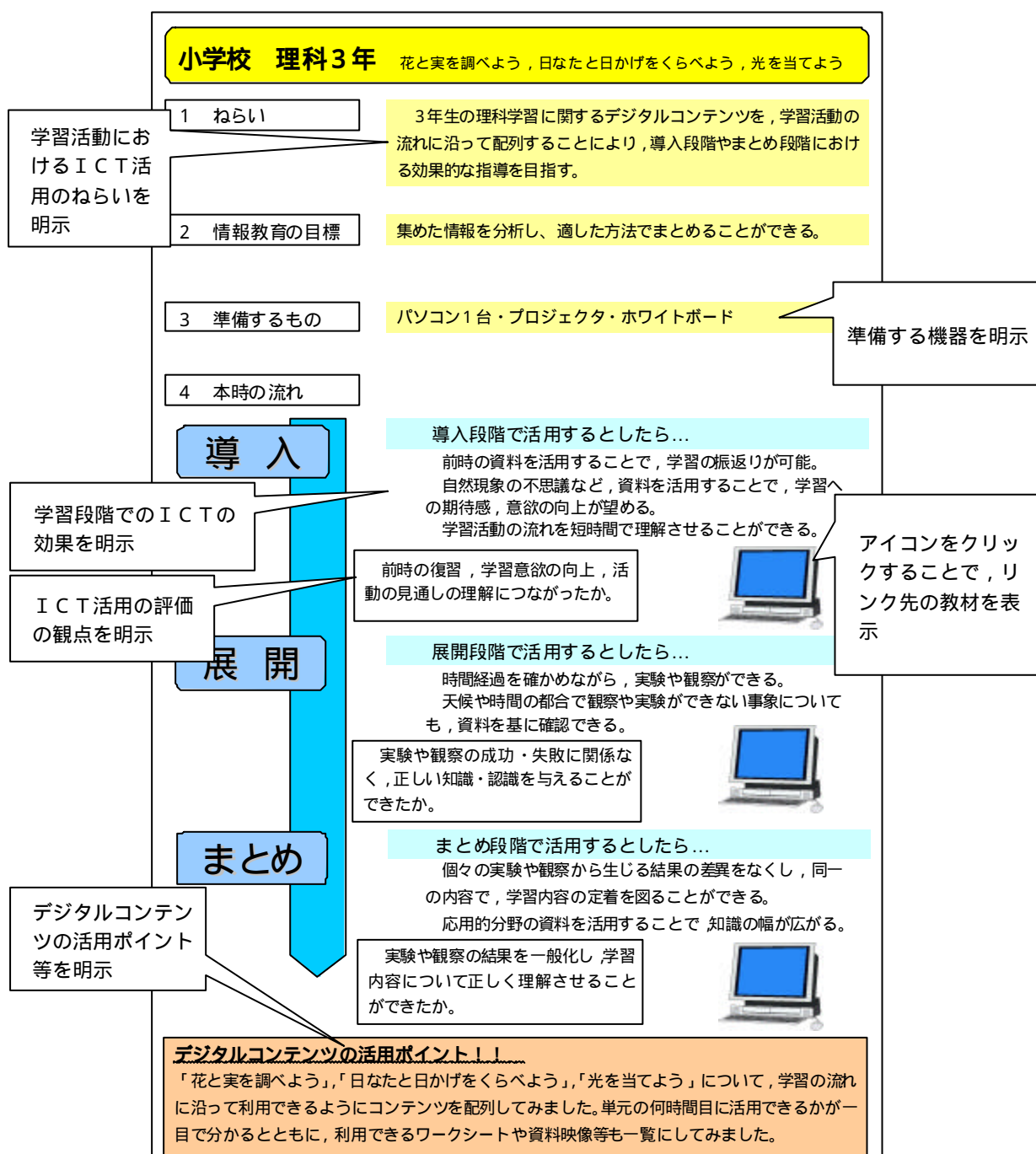
(1) 指導略案の工夫

多くの教員がICTを活用した授業ができるようにするためには、ICTを活用した授業をイメージできるようにその目的や活用場面を明確にすることが大切である。

また、使用する教材の保存場所や教材

や機器の使用例を示す必要がある。

県教育委員会から「ICT利活用」の研究指定(平成19年度から平成20年度)を受けている霧島市立国分北小学校では、以下のような指導略案を作成し、全職員で利用できるようにしている。



(2) 指導計画の工夫

各学習過程(導入・展開・まとめ)で授業とで、単元を通しての活用が図られることに
略案を作成し、ICT活用を図るとともに、なる。

各単元ごとに指導計画の中にICTの活用次に、その一例を示すので参考にしていた
及び参考となるコンテンツ、URLを記載
きたい(表1)。

し、その活用場面を具体的に位置付けるこ

表1 ICT活用の場面を位置付けた指導計画(中学校の社会科「地理的分野」)

単元名	学習目標	ICTの活用及び参考となるコンテンツ,URL
(1) 世界と日本の地域構成 ア 世界の地域構成	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用し緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを取り上げ、世界の地域構成を大観させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子掛け地図ソフトを使つての表示、国名の確認 <div data-bbox="911 741 1399 887" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 掛図をデジタル化したもので、動画や写真、グラフ等の学習素材を収録しており、地図を見ながら関連した統計情報等を理解させることができる。 </div> グーグルマップ http://maps.google.co.jp/ <div data-bbox="644 1048 1107 1178" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> リンク集に登録していつでも活用できるようにしておく。 </div>
イ 日本の地域構成	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、領域の特色、地域区分などを取り上げ、地域構成を大観させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県の確認、日本地図の略図を表示 電子掛け地図 グーグルマップ http://maps.google.co.jp/
ウ 都道府県	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの都道府県を取り上げ、地理的事象を見いだして追求し、地域的特色をとらえさせるとともに、都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 県の概略を提示 電子掛け地図 日本国勢図会CD-ROM <div data-bbox="890 1547 1378 1677" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地域的特色について、統計データを基に理解させることができる。 </div> 鹿児島県 http://www.pref.kagoshima.jp/ 鹿児島県総合観光サイト：ゆっくり・悠・遊観光かごしま http://www3.pref.kagoshima.jp/kankou/ 地図情報検索サイト「Mapion(マピオン)」 http://www.mapion.co.jp/ <div data-bbox="266 1760 802 1890" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> リンク集に登録して、いつでも活用できるようにしておく。 </div>

3 ICTの活用場面をイメージするために参考となるサイト

指導略案を作成したり，指導計画に位置付けたりする際には，以下に述べるWebサイトにICTの活用の場面が分かりやすく具体的に示されているので，参考にさせていただきたい。

(1) 教育情報ナショナルセンター

ア “IT授業”実践ナビ

授業の中での活用場面や校種，学年，教科，学習場所，授業形態等から目的に合った事例を検索することができる。

また，各教科におけるICTを活用した効果的な指導の様子を，実際の授業風景の動画で見ることができる。

<http://www.nicer.go.jp/itnavi/>

イ e授業 Web研修システム

教科指導においてICTを活用し，分かりやすい授業を展開することを目的としており，校種・教科を選び，実践事例を検索することができる。

また，それぞれの実践事例には，ビデオクリップや写真が豊富に用意されている。

<http://www.nicer.go.jp/eltt/>

(2) コンピュータ教育開発センター

ア 授業実践の“宝箱”

ICT活用の要素や学習形態による分類により，必要な実践事例を検索することができる。

<http://web2.cec.or.jp/jissenjirei/>

イ 実践事例検索

校種や教科ごとに授業実践事例，実

施報告，成果発表会資料などを検索することができる。

<http://web2.cec.or.jp/cec/search/index.html>

(3) メディア開発センター

ア TRAIN(教員研修Web総合システム)

ICT活用指導力の基本的な考え方と具体的な指導場面でのICT活用指導力について習得できるビデオ等を視聴することができる。

<http://train.nime.ac.jp/toppage.php>

イ ADAPT(教員のICT活用指導力の自己評価総合研修システム)

文部科学省が公表した，「教員のICT活用指導力のチェックリスト」に基づいて分類された指導場面から，各校種及び各教科ごとに学習できる。

<http://adapt.nime.ac.jp/>

これらのWebサイト等のリンク集を作成して，実践事例等の情報を学校内の全職員で共有し，いつでも気軽に活用できるようにすることも大切である。

ICTは，学習内容の理解と考察を深める上で有効なツールであり，児童生徒の個性や能力に応じた活用で効果も期待されるので，今後とも授業でICTを積極的に活用していただきたい。

【参考文献】

- ・ 文部科学省委託事業「教育の情報化の推進に資する研究(ICTを活用した指導の効果の調査)報告書」

平成19年3月

- ・ 文部科学省「教員のICT活用指導力の基準の具体化・明確化に関する検討会」の報告書 平成19年3月

(情報教育研修課)

